

## 8 リテラシー教育の実績

### (1) 図書館活用法※1 \* 半期2単位(駿河台：前期, 生田：後期, 中野：後期, 和泉：2006年より前期・後期 に開講)

		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
中央図書館	履修者数	133	89	116	107	43	57	50	73	67
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	13 (10)	14 (11)	14 (11)	14 (11)	14 (10)	12 (9)	14 (10)	15(11)	15(13)
	担当講師数 ※3	12 (10)	14 (12)	14 (12)	14 (11)	13 (10)	13 (11)	13 (9)	14(10)	14(10)
和泉図書館	履修者数	523	258	252	302	262	231	253	244	240
	開講数	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	授業回数 ※2	52 (40)	56 (44)	56 (44)	56 (44)	56 (40)	52 (38)	56 (40)	60(44)	58(42)
	担当講師数 ※3	23 (20)	21 (17)	21 (17)	22 (18)	25 (22)	27 (23)	24 (22)	24(22)	29(27)
生田図書館	履修者数	160	152	60	56	42	30	36	26	36
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	13 (10)	14 (11)	14 (10)	14 (10)	13 (9)	14 (10)	14 (10)	15(10)	15 (10)
	担当講師数 ※3	10 (7)	8 (5)	10 (6)	10 (6)	9 (6)	10 (7)	9 (6)	9(6)	10 (6)
中野図書館	履修者数								11	10
	開講数								1	1
	授業回数 ※2								15 (10)	15 (10)
	担当講師数 ※3								8 (5)	8 (5)
履修者総数		816	499	428	465	347	318	339	354	353

※1 2000年開講

※2 カッコ内の数字は職員が担当した回。ただし、教員とともに担当した回は除く。

※3 複数のキャンパスを担当した場合はそれぞれに計上。カッコ内の数字は職員。

### (2) ゼミツアー \* フリーツアー (すべての利用資格者対象) 含む

		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
中央図書館	回数	81	109	102	89	81	59	62	62	56
	履修者数	1,006	1,278	1,137	1,035	905	689	851	714	617
和泉図書館	回数	130	157	181	178	153	139	263	195	170
	履修者数	2,416	2,761	3,055	2,850	2,738	2,221	3,278	2,864	2,741
生田図書館	回数	12	4	25	33	31	28	38	21	21
	履修者数	127	38	267	237	202	163	184	153	218
中野図書館	回数								28	21
	履修者数								396	255

### (3) 出前講義 \* 「図書館活用法」を除く教室授業, 図書館以外施設授業など

		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
中央図書館	回数	ゼミツアーに含む								
	履修者数	ゼミツアーに含む								
和泉図書館	回数	0	5	3	3	0	0	0	0	0
	履修者数	0	154	105	65	0	0	0	0	0
生田図書館	回数	2	2	14	10	12	8	8	8	8
	履修者数	56	213	262	380	443	294	300	286	286
中野図書館	回数								3	2
	履修者数								22	30

**(4) 各種講習会** \* 情報・文献検索講習会, DB 講習会, テーマ別講習会, グループガイダンスなど

		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
中央図書館	回数	23	48	26	22	28	26	19	19	20
	参加者数	78	324	148	264	269	296	221	196	222
和泉図書館	回数		0	0	10	35	45	59	51	40
	参加者数		0	0	114	486	283	397	260	384
生田図書館	回数	0	2	9	11	13	17	22	10	23
	参加者数	0	16	478	158	118	137	71	200	197
中野図書館	回数								17	23
	参加者数								80	68

**(5) オリエンテーション** \* 新入生, 新任教員, 三年次, 留学生など

		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
中央図書館	回数	5	8	8	8	9	6	8	8	13
	参加者数	1,696	1,592	1,548	1,548	1,501	1,076	1,404	1,132	970
和泉図書館	回数		9	11	14	13	15	12	8	8
	参加者数		4,166	5,723	5,725	5,864	5,486	5,232	4,987	5,196
生田図書館	回数	3	6	9	6	4	4	4	4	4
	参加者数	1,095	659	820	1,658	1,585	1,683	1,640	1,632	1,698
中野図書館	回数								6	5
	参加者数								890	627

**(6) 見学・視察** \* 各種団体, 個人, 学校など

		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
中央図書館	回数 ※1	100	103	136	121	148	129	140	134	100
	参加者数	2,266	3,137	2,596	3,136	3,752	3,470	3,785	4,088	3,229
和泉図書館	回数 ※1		50	63	20	7	13	118	118	140
	参加者数		59	450	815	162 (303) ※2	491	3,502	2,099	3,791
生田図書館	回数 ※1	9	11	13	4	1	0	1	0	0
	参加者数	390	238	633	706	591	312	532	232	285
中野図書館	回数 ※1								43	31
	参加者数								2,083	1,638

※1 個人での見学は含まない

※2 カッコ内の数字は建物外からの概要説明のみ

# 学部間共通総合講座「図書館活用法」

## 《春学期》

図書館活用法			コーディネーター	
			経営学部 森 久	
駿河台キャンパス	2単位	半期(春学期)	火曜日	2 時限
<b>1 授業の概要・到達目標</b>				
文献、資料、その他の学術情報を適切な方法で入手し、レポート・論文作成のために利用できる能力を学術情報リテラシーといいます。この授業の目的は、それらを身につけることです。また、この授業によって図書館について深く理解し、図書館の働きを知ることができるとしています。なお駿河台キャンパスにおいては、専門の文献・情報の探し方、就職活動に役立つ企業情報の入手方法についても学びます。				
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>				
①	4月10日	大学図書館への招待	経営学部専任教授 森 久 図書館職員 伊能 秀明	
②	4月17日	図書館総合利用法	図書館職員 小野 聡・吉田 千草・小倉 葉子・永田 由香利	
③	4月24日	読書を愉しむ	経営学部専任教授 福岡 正博	
④	5月 1日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 久松 薫子	
⑤	5月 8日	レポート・論文の書き方	経営学部専任准教授 長野 史麻	
⑥	5月15日	図書館と著作権	図書館職員 杉谷 美和	
⑦	5月22日	文献・情報の探し方(2)図書 【演習】	図書館職員 永田由香利・久松 薫子	
⑧	5月29日	文献・情報の探し方(3)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 宮澤 順子・関口 則枝	
⑨	6月 5日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 宮澤 順子・吉田 千草	
⑩	6月12日	文献・情報の探し方(5)レファレンス資料 【演習】	図書館職員 小倉 葉子・久松 薫子	
⑪	6月19日	文献・情報の探し方(6)専門情報・新聞 【演習】	図書館職員 小倉 葉子・久松 薫子	
⑫	6月26日	文献・情報の探し方(7)インターネット 【演習】	図書館職員 小野 聡 メディア支援職員 寛 直之	
⑬	7月 3日	検索技術の向上 【演習】	図書館職員 小野 聡・梅田 順一	
⑭	7月10日	文献・情報の探し方(8)まとめ 【演習】	図書館職員 関口 則枝・吉田 千草	
⑮	7月17日	総合演習 【演習】	経営学部専任教授 森 久 図書館職員 関口 則枝・吉田 千草	
<b>3 履修上の注意点・準備学習の内容</b>				
教員と専門の図書館職員が分担して授業を行います。講義と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に行っていないと受講できませんので、注意してください。				
<b>4 教科書</b>				
教材として印刷資料を配布します。				
<b>5 参考書</b>				
大野友和編『大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法』(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原嘉康編『大学生のためのレポート・論文術』(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤隆雄編『デジタル・スキルズ：大学生のための知財技術入門』(2009、実業之世社、ISBN9784330065147) 高橋裕樹編『デジタル情報資源の検索』増訂第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久編『情報検索入門』(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
<b>6 成績評価の方法</b>				
①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。*授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありません。				
<b>7 その他</b>				
①～⑬の演習授業は、履修者を2クラスに分け、10号館の教室で行います。				

図書館活用法			コーディネーター	
			法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位	半期(春学期)	火曜日	3 時限
<b>1 授業の概要・到達目標</b>				
1. 図書館の概要、施設、サービスを理解し、また、図書や資料の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー) 2. 様々な学術情報、文献、資料の種類や検索方法を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー) 3. 入札、出版情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成に活用することができます。(学術リテラシー)				
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>				
①	4月15日	講座の概要、成績評価方法等の説明:大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 調査役 坂口 雅樹	
②	4月22日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 西脇 亜由子	
③	4月29日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也	
④	5月13日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一	
⑤	5月20日	書物の愉しみ	法学部専任教授 石前 禎幸	
⑥	5月27日	文献・情報の探し方(2)図書① 【演習】	図書館職員 小林 純一・小倉 さなえ	
⑦	6月 3日	文献・情報の探し方(3)図書② 【演習】	図書館職員 小林 純一・小倉 さなえ	
⑧	6月10日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 永田 由香利・桑原 理恵	
⑨	6月17日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 永田 由香利・桑原 理恵	
⑩	6月24日	文献・情報の探し方(6)レファレンス資料 【演習】	図書館職員 豊満 朝子・畑野 蘭子	
⑪	7月 1日	文献・情報の探し方(7)新聞 【演習】	図書館職員 豊満 朝子・畑野 蘭子	
⑫	7月 8日	文献・情報の探し方(8)インターネット 【演習】	図書館職員 岩池 亮一 メディア支援職員 井上 拓弥	
⑬	7月15日	文献・情報の探し方(9)まとめ 【演習】	図書館職員 柴尾 晋・矢野 恵子	
⑭	7月22日	総括:総合演習 【演習】	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 柴尾 晋・矢野 恵子	
<b>3 履修上の注意点・準備学習の内容</b>				
教員と専門の図書館職員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に行っていないと受講できませんので、注意してください。				
<b>4 教科書</b>				
教材として印刷資料を配布します。				
<b>5 参考書</b>				
大野友和編『大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法』(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原嘉康編『大学生のためのレポート・論文術』(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤隆雄編『デジタル・スキルズ：大学生のための知財技術入門』(2009、実業之世社、ISBN9784330065147) 高橋裕樹編『デジタル情報資源の検索』増訂第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久編『情報検索入門』(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
<b>6 成績評価の方法</b>				
①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。*授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありません。				
<b>7 その他</b>				

図書館活用法			コーディネーター	
			法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位	半期(春学期)	火曜日	5 時限
<b>1 授業の概要・到達目標</b>				
1. 図書館の概要、施設、サービスを理解し、また、図書や資料の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー) 2. 様々な学術情報、文献、資料の種類や検索方法を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー) 3. 入札、出版情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成に活用することができます。(学術リテラシー)				
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>				
①	4月15日	講座の概要、成績評価方法等の説明:大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 調査役 坂口 雅樹	
②	4月22日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 藤 麻子	
③	4月29日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也	
④	5月13日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一	
⑤	5月20日	書物の愉しみ	法学部専任教授 石前 禎幸	
⑥	5月27日	文献・情報の探し方(2)図書① 【演習】	図書館職員 松本 康子・仲山 加奈子	
⑦	6月 3日	文献・情報の探し方(3)図書② 【演習】	図書館職員 松本 康子・仲山 加奈子	
⑧	6月10日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 折戸 晶子・齋木 信一	
⑨	6月17日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 折戸 晶子・齋木 信一	
⑩	6月24日	文献・情報の探し方(6)レファレンス資料 【演習】	図書館職員 齋木 信一・藤 麻子	
⑪	7月 1日	文献・情報の探し方(7)新聞 【演習】	図書館職員 齋木 信一・藤 麻子	
⑫	7月 8日	文献・情報の探し方(8)インターネット 【演習】	図書館職員 梅田 順一・角 祐二郎	
⑬	7月15日	文献・情報の探し方(9)まとめ 【演習】	図書館職員 柴尾 晋・矢野 恵子	
⑭	7月22日	総括:総合演習 【演習】	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 柴尾 晋・矢野 恵子	
<b>3 履修上の注意点・準備学習の内容</b>				
教員と専門の図書館職員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に行っていないと受講できませんので、注意してください。				
<b>4 教科書</b>				
教材として印刷資料を配布します。				
<b>5 参考書</b>				
大野友和編『大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法』(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原嘉康編『大学生のためのレポート・論文術』(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤隆雄編『デジタル・スキルズ：大学生のための知財技術入門』(2009、実業之世社、ISBN9784330065147) 高橋裕樹編『デジタル情報資源の検索』増訂第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久編『情報検索入門』(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
<b>6 成績評価の方法</b>				
①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。*授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありません。				
<b>7 その他</b>				

# 《秋学期》

図書館活用法			コーディネーター	
			法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位 半期(秋学期)	火曜日 3 時限		
<b>1 授業の概要・到達目標</b>				
1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や蔵書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー)				
2. 様々な情報源、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)				
3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成が行えるようになります。(学術リテラシー)				
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>				
①	9月23日	講座の概要、成績評価方法等の説明: 大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 調査役 坂口 雅樹	
②	9月30日	文獻・情報の探し方(1)概論	図書館職員 豊満 朝子	
③	10月7日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也	
④	10月14日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一	
⑤	10月21日	書物の検し方	法学部専任教授 石前 清幸	
⑥	10月28日	文獻・情報の探し方(2)図書① 【演習】	図書館職員 松並 康子・久松 薫子	
⑦	11月4日	文獻・情報の探し方(3)図書② 【演習】	図書館職員 松並 康子・柴尾 晋	
⑧	11月11日	文獻・情報の探し方(4)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 宮澤 順子・桑原 理恵	
⑨	11月18日	文獻・情報の探し方(5)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 宮澤 順子・桑原 理恵	
⑩	11月25日	文獻・情報の探し方(6)レファレンス資料 【演習】	図書館職員 吉田 千草・畑野 蘭子	
⑪	12月2日	文獻・情報の探し方(7)新聞 【演習】	図書館職員 吉田 千草・畑野 蘭子	
⑫	12月9日	文獻・情報の探し方(8)インターネット 【演習】	図書館職員 梅田 順一 メディア支援職員 井上 拓弥	
⑬	12月16日	レポートの書き方 【演習】	図書館職員 柴尾 晋・矢野 恵子	
⑭	1月13日	文獻・情報の探し方(9)まとめ 【演習】	図書館職員 関口 則枝・矢野 恵子	
⑮	1月20日	総括:総合演習 【演習】	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 関口 則枝・矢野 恵子	
<b>3 履修上の注意点・準備学習の内容</b>				
教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基本本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できません。				
<b>4 教科書</b> 教材は印刷資料を配布する。				
<b>5 参考書</b> 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005, 日本図書館協会, ISBN9784820405009) 小笠原嘉彦著「大学生のためのレポート・論文術」(2009, 講談社, ISBN9784062880213) 佐藤聖雄著「デジタルリテラシー：大学生のための知的技法入門」(第2版)(2012, 勉誠出版, ISBN9784766419603) 酒井聡著「これからのレポート・卒論を書く者のために」(2007, 共立出版, ISBN9784320005747) 高松裕樹著「デジタル情報資源の検索」(第4版)(2012, 日本図書館協会, ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門」(第2版)データベース、Web、図書館の利用法」(2008, 勉誠出版, ISBN97848585071242)				
<b>6 成績評価の方法</b> ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。*授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありません。				
<b>7 その他</b>				

図書館活用法			コーディネーター	
			法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位 半期(秋学期)	火曜日 5 時限		
<b>1 授業の概要・目的</b>				
1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や蔵書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー)				
2. 様々な情報源、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)				
3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成が行えるようになります。(学術リテラシー)				
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>				
①	9月23日	講座の概要、成績評価方法等の説明: 大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 坂口 雅樹	
②	9月30日	文獻・情報の探し方(1)概論	図書館職員 矢野 恵子	
③	10月7日	レポート・論文の書き方	法学部准教授 鈴木 哲也	
④	10月14日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一	
⑤	10月21日	書物の検し方	法学部専任教授 石前 清幸	
⑥	10月28日	文獻・情報の探し方(2)図書① 【演習】	図書館職員 辻 薫・山崎 京子	
⑦	11月4日	文獻・情報の探し方(3)図書② 【演習】	図書館職員 辻 薫・山崎 京子	
⑧	11月11日	文獻・情報の探し方(4)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 豊満 朝子・曾野 正士	
⑨	11月18日	文獻・情報の探し方(5)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 豊満 朝子・曾野 正士	
⑩	11月25日	文獻・情報の探し方(6)レファレンス資料 【演習】	図書館職員 齋木 信一・藤 麻子	
⑪	12月2日	文獻・情報の探し方(7)新聞 【演習】	図書館職員 齋木 信一・藤 麻子	
⑫	12月9日	文獻・情報の探し方(8)インターネット 【演習】	図書館職員 角 祐二郎・原口 尚大	
⑬	12月16日	レポートの書き方 【演習】	図書館職員 豊満 朝子・曾野 正士	
⑭	1月13日	文獻・情報の探し方(9)まとめ 【演習】	図書館職員 柴尾 晋・矢野 恵子	
⑮	1月20日	総括:総合演習 【演習】	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 柴尾 晋・矢野 恵子	
<b>3 履修上の注意点・準備学習の内容</b>				
教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基本本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できません。				
<b>4 教科書</b> 教材は印刷資料を配布する。				
<b>5 参考書</b> 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005, 日本図書館協会, ISBN9784820405009) 小笠原嘉彦著「大学生のためのレポート・論文術」(2009, 講談社, ISBN9784062880213) 佐藤聖雄著「デジタルリテラシー：大学生のための知的技法入門」(第2版)(2012, 勉誠出版, ISBN9784766419603) 酒井聡著「これからのレポート・卒論を書く者のために」(2007, 共立出版, ISBN9784320005747) 高松裕樹著「デジタル情報資源の検索」(第4版)(2012, 日本図書館協会, ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門」(第2版)データベース、Web、図書館の利用法」(2008, 勉誠出版, ISBN97848585071242)				
<b>6 成績評価の方法</b> ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。*授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありません。				
<b>7 その他</b>				

図書館活用法			コーディネーター	
			農学部 賀来 華江	
生田キャンパス	2単位 半期(秋学期)	金曜日 5 時限		
<b>1 授業の概要・目的</b>				
1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や蔵書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー)				
2. 様々な情報源、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)				
3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成が行えるようになります。(学術リテラシー)				
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>				
①	9月26日	講座の概要、成績評価方法等の説明: 大学図書館への招待	農学部教授 賀来 華江 図書館職員 高橋 英子	
②	10月3日	図書館と情報の価値	理工学部教授 園田 眞理子	
③	10月10日	文獻・情報の探し方(1)概論 ～探して見つけて手に入れる、全体を見わたす	図書館職員 西脇 亜由子	
④	10月17日	レポート・論文の書き方 ～分かったつもりで分かっていないポイントをつかもう!	理工学部専任教授 菅原 哲雄	
⑤	10月24日	図書館と著作権 ～きちんと論文レポートを書くために	情報コミュニケーション学部専任准教授 今村 哲也	
⑥	10月31日	文獻・情報の探し方(2)図書 ～さつと論文レポートを書くために 【演習】	図書館職員 平田 さくら	
⑦	11月7日	文獻・情報の探し方(3)雑誌論文① ～雑誌?論文?違いが分ればサクサク検索 【演習】	図書館職員 小林 純一	
⑧	11月14日	文獻・情報の探し方(4)雑誌論文② ～雑誌?論文?違いが分ればサクサク検索 【演習】	図書館職員 小倉 さなえ	
⑨	11月28日	文獻・情報の探し方(5)レファレンス資料 ～雑誌?論文?違いが分ればサクサク検索 【演習】	図書館職員 小林 純一	
⑩	12月5日	文獻・情報の探し方(6)レファレンス資料 ～雑誌?論文?違いが分ればサクサク検索 【演習】	図書館職員 平田 さくら	
⑪	12月12日	文獻・情報の探し方(7)インターネット ～ネットで使える情報をさがす 【演習】	図書館職員 小倉 さなえ	
⑫	12月19日	文獻・情報の探し方(8)インターネット ～ネットで使える情報をさがす 【演習】	図書館職員 角 祐二郎	
⑬	1月9日	検索技術の向上 ～まだある検索のツボ 【演習】	図書館職員 平田 さくら	
⑭	1月16日	文獻・情報の探し方(9)まとめ 【演習】	農学部 教授 賀来 華江 図書館職員 西脇 亜由子	
⑮	1月23日	総括:総合演習 【演習】	農学部 教授 賀来 華江 図書館職員 西脇 亜由子	
<b>3 履修上の注意点・準備学習の内容</b>				
教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基本本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できません。				
<b>4 教科書</b> 教材は印刷資料を配布する。				
<b>5 参考書</b> 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005, 日本図書館協会, ISBN9784820405009) 小笠原嘉彦著「大学生のためのレポート・論文術」(2009, 講談社, ISBN9784062880213) 佐藤聖雄著「デジタルリテラシー：大学生のための知的技法入門」(第2版)(2012, 勉誠出版, ISBN9784766419603) 酒井聡著「これからのレポート・卒論を書く者のために」(2007, 共立出版, ISBN9784320005747) 高松裕樹著「デジタル情報資源の検索」(第4版)(2012, 日本図書館協会, ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門」(第2版)データベース、Web、図書館の利用法」(2008, 勉誠出版, ISBN97848585071242)				
<b>6 成績評価の方法</b> ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。*授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありません。				
<b>7 その他</b>				

図書館活用法			コーディネーター	
			国際日本学部 美濃部 仁	
中野キャンパス	2単位 半期(秋学期)	水曜日 3 時限		
<b>1 授業の概要・到達目標</b>				
1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や蔵書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー)				
2. 様々な情報源、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)				
3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成が行えるようになります。(学術リテラシー)				
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>				
①	9月24日	講座の概要、成績評価方法等の説明: 大学図書館への招待	国際日本学部専任教授 美濃部 仁 図書館職員 久保木 和義	
②	10月1日	文獻・情報の探し方(1)概論	図書館職員 久保木 和義	
③	10月8日	レポート・論文の書き方	国際日本学部専任教授 美濃部 仁	
④	10月15日	図書館の歴史	総合数理学部専任教授 砂田 利一	
⑤	10月22日	図書館と著作権	図書館職員 杉谷 美和	
⑥	10月29日	書物の検し方	国際日本学部専任教授 吉田 悦志	
⑦	11月5日	文獻・情報の探し方(2)図書① 【演習】	図書館職員 菊池 亮一	
⑧	11月12日	文獻・情報の探し方(3)図書② 【演習】	図書館職員 菊池 亮一	
⑨	11月19日	文獻・情報の探し方(4)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 折戸 晶子	
⑩	11月26日	文獻・情報の探し方(5)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 折戸 晶子	
⑪	12月3日	文獻・情報の探し方(6)レファレンス資料 【演習】	図書館職員 畑野 蘭子	
⑫	12月10日	文獻・情報の探し方(7)新聞 【演習】	図書館職員 畑野 蘭子	
⑬	12月17日	文獻・情報の探し方(8)インターネット 【演習】	図書館職員 久保木 和義	
⑭	1月7日	文獻・情報の探し方(9)まとめ 【演習】	図書館職員 久保木 和義	
⑮	1月14日	総括:総合演習 【演習】	国際日本学部専任教授 美濃部 仁 図書館職員 久保木 和義	
<b>3 履修上の注意点・準備学習の内容</b>				
教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基本本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できません。				
<b>4 教科書</b> 教材は印刷資料を配布する。				
<b>5 参考書</b> 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005, 日本図書館協会, ISBN9784820405009) 小笠原嘉彦著「大学生のためのレポート・論文術」(2009, 講談社, ISBN9784062880213) 佐藤聖雄著「デジタルリテラシー：大学生のための知的技法入門」(第2版)(2012, 勉誠出版, ISBN9784766419603) 酒井聡著「これからのレポート・卒論を書く者のために」(2007, 共立出版, ISBN9784320005747) 高松裕樹著「デジタル情報資源の検索」(第4版)(2012, 日本図書館協会, ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門」(第2版)データベース、Web、図書館の利用法」(2008, 勉誠出版, ISBN97848585071242)				
<b>6 成績評価の方法</b> ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。*授業回数の3分の1以上欠席した場合は、原則として期末レポートを提出する資格がありません。				
<b>7 その他</b>				